

人間環境大学人間環境学部環境科学科 教育課程および履修方法に関する規程

(準拠)

- 第 1 条 この規程は、人間環境大学学則第 29 条に基づき教育課程および履修方法について定める。
- 2 編入学又は転入学を許可された者の履修方法については別に定める。
 - 3 大学院の教育課程および履修方法については、別に定める。

(授業科目の区分)

第 2 条 授業科目は、以下の科目に区分する。

- (1) 学部共通科目
- (2) 自然・社会環境科目
- (3) 精神環境科目
- (4) 歴史・文化環境科目
- (5) 卒業論文

(卒業単位)

第 3 条 本学を卒業するためには、前条に定める科目群から以下の必要単位数を含め 126 単位以上を修得しなければならない。

- (1) 学部共通科目 14 単位以上
ただし、必修科目 14 単位を含むこと。
- (2) 自然・社会環境科目 68 単位以上
 - イ 自然・社会環境共通科目 12 単位以上
ただし、必修科目 12 単位を含むこと。
 - ロ 自然環境科目ならびに社会環境科目 56 単位以上
ただし、以下の a、b、c、d のいずれかの要件を満たすこと。
 - a 自然環境科目から自然環境共通科目 12 単位および生態系基本科目 18 単位および生態系（動物）科目 8 単位、ならびに社会環境科目から 12 単位
 - b 自然環境科目から自然環境共通科目 12 単位および生態系基本科目 18 単位および生態系（植物）科目 8 単位、ならびに社会環境科目から 12 単位
 - c 自然環境科目から自然環境共通科目 12 単位および物質循環科目 28 単位、ならびに社会環境科目から 12 単位
 - d 自然環境科目から 8 単位、ならびに社会環境科目から社会環境基本科目 38 単位
- (3) 精神環境科目 8 単位以上
- (4) 歴史・文化環境科目 8 単位以上
- (5) 卒業論文 6 単位

(領域の選択)

- 第 4 条 2 年次に生態系領域、物質循環領域、社会環境領域のいずれかを選択する。
- 2 2 年次に生態系領域を選択した場合、3 年次に生態系（動物）領域、生態系（植物）領域のいずれかを選択する。

(開設授業科目)

第 5 条 本学が開設する授業科目は、別表 1 のとおりとする。

(履修科目の登録の上限と制限)

- 第 6 条 1 年間に履修科目として登録できる単位数は 46 単位以下とする。なお、前年度の GPA が 3.50 以上の場合、登録できる単位数は 50 単位以下とする。また、前年度の GPA が 0.70 未満の場合、登録できる単位数は 45 単位以下とする。
- 2 3 年次配当の演習科目を履修する為には、前年度までに 40 単位以上の修得かつ通算 GPA0.43 以上であることを条件とし、4 年次以上の学生は前年度までに 40 単位以上を修得することのみ条件とする。
 - 3 演習は、I、II、III、IV の順番で修得することとし、同時に、又は飛び越えて履修することはできない。なお、前項の条件に満たない場合は 4 年の在学期間での卒業が

【平成 31 年度以降入学生用】

不可となる。

(成績)

第 7 条 学則第 34 条に定める成績は、下記の評価基準により認定する。

評価点等	評語	合否等	評価基準
100～90 点	S	合格	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
89～80 点	A		学習目標を相応に達成している (Very Good)
79～70 点	B		学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある (Good)
69～60 点	C		学習目標の最低限は満たしている (Pass)
60 点未満	D	不合格	学習目標の最低限を満たしていない (Failure)

2 学則以外に定める評価は、下記の基準により実施する。

評価点等	評語	合否等	評価基準
試験欠席	E	不合格	試験不受験、課題未提出により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
授業放棄	F		出席不足等により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
認定	N	認定	本学以外で修得したもので本学が単位認定したもの (Credit given under Credit provision)

(総合成績評価)

第 8 条 前条の成績の評価に対して次の各号に掲げるグレード・ポイント(以下「GP」という。)を設定し、不合格の授業科目を含めて、履修科目のグレード・ポイントの平均(グレード・ポイント・アベレージ(以下「GPA」という。))を算出し、総合成績評価を行う。

評語	GP
S	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
D	0
E	0
F	0
N	対象外

2 GPA を算出する基準は、次のとおりとする。

$GPA = (\text{授業科目で得た GP} \times \text{その授業科目の単位数}) \text{の総和} / (\text{履修登録した授業科目の単位数の総和})$

3 成績証明書には、GPA は明記しない。

4 GPA 対象外授業科目は、次のとおりとする。

- (1)成績の評価点が認定となる科目
- (2)定められた期間に履修取り消しの手続きをした科目
- (3)その他、卒業要件に算入されない科目

(規程の改廃)

第 9 条 この規程の改廃は、人間環境学部教授会の議を経て、学長が決定する。

附則 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程 (別表改正) は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程 (別表改正) は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程 (別表改正) は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附則 この規程 (別表改正) は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

人間環境学部環境科学科【別表1】

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
授業科目の概要	学部 共通科目	人間環境学	1	2		複数回履修可。但し卒業要件に算入 できる単位は2単位まで。 複数回履修可。但し卒業要件に算入 できる単位は1単位まで。
		基礎ゼミナールⅠ	1	2		
		基礎ゼミナールⅡ	1	2		
		海外大学単位互換科目Ⅰ	1		2	
		海外大学単位互換科目Ⅱ	2		1	
		キャリアデザイン	1	2		
		ビジネスコミュニケーション	3		2	
		キャリア形成演習	3		1	
		情報実習Ⅰ	1	1		
		情報実習Ⅱ	1	1		
		スポーツ実習	1		1	
		英語Ⅰ	1	2		
		英語Ⅱ	1	2		
		英語Ⅲ	2		2	
		英語Ⅳ	2		2	
		英会話Ⅰ	1		2	
		英会話Ⅱ	1		2	
		ドイツ語Ⅰ	1		2	
		ドイツ語Ⅱ	1		2	
		中国語Ⅰ	1		2	
		中国語Ⅱ	1		2	
		4大学単位互換科目A	1		2	
		4大学単位互換科目B	1		2	
		4大学単位互換科目C	1		2	
		4大学単位互換科目D	1		2	
		4大学単位互換科目E	1		2	
		4大学単位互換科目F	1		2	
		4大学単位互換科目G	1		2	
		単位互換履修生科目A-Ⅰ	2		2	
		単位互換履修生科目A-Ⅱ	2		2	
		単位互換履修生科目A-Ⅲ	2		2	
		単位互換履修生科目B-Ⅰ	2		4	
		単位互換履修生科目B-Ⅱ	2		4	
		単位互換履修生科目B-Ⅲ	2		4	
自然・社会 環境科目	自然・ 社会環境 共通科目	森林管理実習B	1	1		複数回履修可。
		地域連携ワーク	1	1		
		地域課題解決実習	1	1		
		森林管理実習A	1		1	複数回履修可。但し卒業要件に算入 できる単位は1単位まで。
		海と川の生物学入門	1		2	
		海洋ダイビング実習	1		1	
		生態学のフロンティア	1		1	
		潮間帯リサーチ入門	2		1	
		環境昆虫学	2		2	
		データサイエンス概論	2		2	
		社会調査概論	1		2	
		ソーシャル&リサーチプランニング	1		2	
		環境情報と社会	1		2	
		学術論文講読Ⅰ	2	2		
		学術論文講読Ⅱ	2	2		
		農業基礎実習Ⅰ	2		2	
		農業基礎実習Ⅱ	2		2	

人間環境学部環境科学科【別表1】

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
授業科目の概要	自然・社会環境共通科目	動物園・水族館実習	2	1			
		エコ・フィールド社会実習	2	2			
		水族館展示実習	2	1			
		演習Ⅰ	3	2			
		演習Ⅱ	3	2			
		演習Ⅲ	4	2			
		演習Ⅳ	4	2			
		インターンシップ	3		1		
		農業・情報キャリア論	2		2		
	自然環境共通科目	環境リスク概論	1		2		
		基礎数学	2		2		
		自然地理学	2		2		
		統計処理法	2		4		
		地理情報処理法	3		2		
		生態系基本科目	生態系の機能と社会	1		2	
			環境と生物の進化	1		2	
			基礎生物学	2		2	
			緑化・栽培概論	2		2	
	緑地・植物学基礎実習		2		2		
	植物生態学		2		2		
	動物生態学		2		2		
	動物学基礎実習		2		2		
	生物多様性		3		2		
	自然環境科目	動物行動学	3		2		
		野生動物保全学	3		2		
		動物学実習	3		2		
		人間動物関係学	3		2		
		植物学実習	3		2		
		植物形態・分類学	3		2		
		緑地管理学	3		2		
		緑地学実習	3		2		
		栽培学実習	3		2		
	物質循環科目	地球環境の化学像	1		2		
		物質循環とエネルギー	2		4		
		基礎化学実験Ⅰ	2		2		
		基礎化学実験Ⅱ	2		2		
		水環境での物質循環	2		4		
		森林と土壌環境での物質循環	3		4		
		環境化学実験Ⅰ	3		2		
		環境化学実験Ⅱ	3		2		
		土壌圏保全論	3		2		
	社会環境基本科目	生態毒性	3		4		
現代社会と経済		1		2			
企業会計Ⅰ		1		2			
企業会計Ⅱ		1		2			
経営学概論		1		2			
経済学概論		1		2			
環境経済学Ⅰ		2		2			
環境経済学Ⅱ		2		2			
環境経営	2		2				

人間環境学部環境科学科【別表1】

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
授業科目の概要	自然・社会環境科目 社会環境基本科目	現代企業論	2	2		
		金融	2	2		
		財政	2	2		
		国際協力論	2	2		
		環境と開発	2	2		
		地域経済	2	2		
		環境法制	3	2		
		経営分析	3	2		
		エネルギーと文明史	3	2		
		環境政策	3	2		
		産業構造論	3	2		
		環境問題と基本的人権	1	2		
		環境倫理	2	2		
		ゲーム理論	2	2		
		社会調査法Ⅰ	2	2		
		社会調査法Ⅱ	2	2		
		簿記論Ⅰ	2	2		
		簿記論Ⅱ	2	2		
		環境思想	2	2		
		経済学史Ⅰ	3	2		
	経済学史Ⅱ	3	2			
	ソーシャルビジネス論	3	2			
	水と緑の政策	3	2			
	環境社会学	3	2			
	山地災害論	3	2			
	歴史・文化環境科目	言語表現論	1	2		
		日本美術文化論Ⅰ	1	2		
		日本美術文化論Ⅱ	1	2		
		日本美術文化論Ⅲ	2	2		
		日本美術文化論Ⅳ	2	2		
		日本の言語芸術と文化Ⅰ	1	2		
		日本の言語芸術と文化Ⅱ	1	2		
		日本の言語芸術と文化Ⅲ	2	2		
日本の言語芸術と文化Ⅳ		2	2			
中国の歴史と文化Ⅰ		1	2			
中国の歴史と文化Ⅱ		1	2			
中国の歴史と文化Ⅲ		2	2			
中国の歴史と文化Ⅳ		2	2			

人間環境学部環境科学科【別表1】

	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
授業科目の概要	精神環境科目	心理学概論	1	2		
		心理学研究法	1	2		
		教育・学校心理学Ⅰ（教育心理学）	1	2		
		心理学統計法	1	2		
		発達心理学	1	2		
		臨床心理学概論	1	2		
		学習・言語心理学	2	2		
		社会・集団・家族心理学	2	2		
		感情・人格心理学Ⅱ（人格心理学）	2	2		
		対人関係論	2	2		
		感情・人格心理学Ⅰ（感情心理学）	3	2		
		青年心理学	3	2		
		マスメディア心理学	3	2		
		産業・組織心理学Ⅰ（産業心理学）	3	2		
		健康・医療心理学	3	2		
		知覚・認知心理学	2	2		
		教育・学校心理学Ⅱ（学校心理学）	3	2		
		産業・組織心理学Ⅱ（組織心理学）	3	2		
	卒業論文	4	6			